

自彊前進

題字 西村直子

NO. 35 令和5年11月21日(火)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

音楽のつどい終わる

11月18日(土)にりゅーとぴあを会場にし、第44回音楽のつどいが行われました。当日は多くの保護者から会場に足をお運びいただき、誠にありがとうございました。今回のスローガンは、「最響(さいきょう)」でした。「最強」とかけているのだと思いますが、確かに素晴らしい歌声が会場中に響いていて、観客の心を揺さぶるものでした。

当校には特色ある行事が沢山ありますが、音楽のつどいが最後に位置しているのには大きな意味があります。1、2年生にとっては新しい学級で、3年生にとっては義務教育最後の年に、すなやま完歩大会、ときわ体育祭、演劇発表会において、そして何より日々の授業を一緒に過ごしてきた仲間と想いを一つにして、表現する行事が音楽のつどいであるということなのです。すなやま完歩大会とときわ体育祭は自分たちが精いっぱい努力し、自分たちが達成感をもてればよいという行事です。一方、演劇発表会と音楽のつどいは、目の前の観客に自分たちの想いを伝えられなければならない、セリフや演技、演出を駆使し、メッセージを伝えることができる演劇発表会と比しても、ずっと難易度が高い行事が音楽のつどいになります。

各学級の練習について、放課後練習①までは全員参加が原則でしたが、ほとんどの生徒が②まで自主的に残って活動していたのはとても素晴らしいことだと思います。仲間とのつながりを感じられ、充実した時間になったことでしょう。また、先輩の発表を聞いて涙する姿も多く見られました。先輩からのバトンが引き継がれた素敵な発表会になりました。

今年度も残り4ヶ月程度となりました。この学級でよかったという思いをもって終われるよう、更に認め合い、支え合い、高め合う集団となれるよう努力していきましょう。



当日の様子



各学年の学年合唱の様子



3年生各クラスの合唱の様子

音楽部合唱の様子